



# くわた恭子通信

<http://kyoko.moo.jp>

[zxkyoko@yahoo.co.jp](mailto:zxkyoko@yahoo.co.jp)

[無所属]

発行日 R4年7月26日

発行者 広島市議会議員

くわた 恭子

731-5153 佐伯区河内南2-30-2

TEL929-293C FAX929-2928

OPEN 9時~15時(月~金)

地域の皆様 お世話になりました。市議会議員のくわた恭子です。連日の猛暑、お変わりありません。6月定例会の報告 通信63号を発行いたしました。一般質問の内容が中心です。



コロナ感染拡大が再び広がり始めました。また、長引くロシアのウクライナ侵略は終りが見えぬ状況です。それを契機とした物価高の食料品やエネルギーを中心に値上げがおおきく生活を圧迫しています。物価高への対応として国は地方創生臨時交付金をあてるとして、給食食材の値上げにはこの補助金で対応します。また、7月29日から、物価高への対応支援の臨時議会の開かれます。補正額は30億円です。不安な要素が多数の中、参議院選挙は自民党が圧勝しました。選挙終盤の菅元総理の襲撃はあはれならぬ暴挙です。選挙で政治が変えられるとの思いの犯行ではないようですが、不安な時こそ政治の役割は大きいと感じています。自分にできることを精一杯頑張りたいと思っています。

## 議員定数は2増2減 費用弁償廃止は否決

令和5年4月統一選挙の定数

行政区	国勢調査人口	議員定数	改正定数	増減
中区	142,746	6	6	
東区	119,397	6	5	-1
南区	145,889	6	7	+1
西区	190,327	9	9	
安佐南区	247,118	10	11	+1
安佐北区	139,040	7	6	-1
安芸区	77,127	4	4	
佐伯区	139,637	6	6	
計	1,201,281	54	54	0

54人は現行のまま、東区と安佐北区が1人減。南区と安佐南区が1人増となります。最終的に賛成しました。これより先、否決になりましたが定数50人とする議案が提案され、会派で賛成しました。定数50人が各区の1票の較差が最も少ないこと。河井事件で辞職が相次ぎ、現在実質50人で議会運営行っている事実がある事が理由です。議員数が減ると市民の声が行政に届かないとの意見があるが現在の情報時代、議員の勝手な思い込みと思う。議会は社会の縮図、数ではなく多様な人材が必要、会社員が立候補できる。落選しても職場復帰できる制度などあれば良いと思う

政令指定都市 費用弁償支給状況

支給状況	都市
非支給	札幌市 仙台市 さいたま市 千葉市 新潟市 浜松市 名古屋市 京都市 大阪市 堺市 岡山市 11都市
	公共交通の運賃 川崎市 相模原市 神戸市 静岡市 4都市
	1000円~3000円 横浜市 北九州市 福岡市 熊本市 4都市
5000円~8000円	広島市 8km以内/日額5千円 8km以上/日額8千円 1都市

費用弁償廃止の議案が公明党から提案されました。費用弁償とは、議員が議会出席時に支給される交通費的なものです。広島市は平成19年9月表の金額にするまでは一律11000円で政令市で最高額でした。当時、私は費用弁償は要らないと廃止を提案したので、減額には反対しました。それ以降、費用弁償廃止の議案は、今回を含め5回提案されていますが、いずれも否決となっています。廃止を求めながら費用弁償を受取るのはおかしいと平成17年6月から供託しています。最近の状況でも広島市が最高額、議員が議会に出席するのは当たり前、我々は給与ではなく報酬、交通費は含まれる。廃止して当然です。

# 中央図書館移転先候補のEールEール館 経営の安定性に問題あり

広島中央図書館については、令和3年9月2日、EールEールA館への移転整備の方針が出され移転への賛否が議論されました。令和4年度当初予算1億7729万9千円に対し、EールEールA館への移転以外の予算、寄贈された浅野図書館について浅野家との協議を行うのに必要な53万円だけを残し、それ以外を削除する修正案を提案いたしました。

結果は、修正案賛成が21人、反対が24人で、市長提案の原案が僅差で可決しています。原案は可決いたしました。全会派共同で付帯決議が出されました。内容は「図書館整備方針を作ること、その後、移転、建て替えの候補地の比較を行い場所を決めること、基本設計、実施設計においても関係者の意見を広く取り入れること」というものです。

## 質問

整備方針とは、市の中央図書館は、どうあるべきかを定めるものとの説明です。有識者や関係者で審議会など設置し検討するのだと思っておりましたが、整備方針は行政内部で作るとの事、その理由と整備全体の日程はどうなるのか。

## 答弁

整備方針は市の内部で作る素案について議会や市民に加えて広島市立図書館協議会、広島市社会教育委員会議から意見を聞き、遅くとも年内に策定する。中央図書館等は短期間で整備に取り組む。

南口開発株式会社 資金計画 (千円)

	令和3年度資金計画		令和4年度資金計画	
	毎年の収入	R3 限定の収入	毎年の収入	R4 限定の収入
<b>受入れ資金</b>				
前期繰越		689464		937774
賃貸収入	1580613		1545790	
駐車場	213448		194700	
指定管理料	106518		122010	
補助金		10070		58300
長期借入金		4800000		
短期借入金				200000
敷金受入		279863		
その他	187133		183269	
合計	2087712	5779397	2045769	1196074
総合計	7867109		3241843	
	毎年の支出	R3 限定の支出	毎年の支出	R4 限定の支出
<b>支払資金</b>				
賃貸事業	735517		745392	
駐車場委託費	132321		153597	
受託事業	108465		124203	
一般管理	92869		90897	
支払利息	143935		137205	
長期借入金	480000		480000	
敷金返済		4827959		10000
修繕積立	107704		107704	
設備投資等	241780			374898
その他	173230		354379	
合計	2215821	4827959	2193377	384898
総合計	7043780		2578275	

R5年度繰越金予定額663568千円

7/22素案が出されました。7/25の総務委員会で説明するとの事です。一読した印象は、今までの意見の羅列に思えました。

## 質問

図書館移転再整備は、図書館に問題があるのでは無く、移転先広島駅南口開発株式会社にごそ喫緊の課題があると思う。繰越金は減り続けるのか経営の安定性はあるのか

## 答弁

今後3年間手持ち資金の減少は見込まれるが、円滑な資金繰りに支障がないよう留意することで令和7年度以降、経営は安定する予定

表は、南口の収支計画、現金出納の計画を毎年の物と単年度の物に分けて作り直したものです。毎年の収入合計と毎年の支出合計を見ると、支出の方が多額です。R4繰越金937774千円がR5では663568千円に約2億7千万円の減額です。答弁の3年間資金が減るとすれば、3年間で繰越金は底をついてしまいます。令和7年から安定する予定と答えましたが、具体的な内容はありませんでした。長期借入金、4億8千万円が再び返済できない可能性が生じます。図書館を移転により経営の安定化を目指すはその計画は図書館の現地建て替えなどとの比較検討の中で示すとしています。建物としての課題に加え、経営の安定にも問題が大きく移転は不可能と思う

# トラブル続きの高速5号線 トンネルの増額が止まらない

## ～高速5号線双葉山トンネルの経緯～

高速5号線は、平成12年高速道路整備計画に追加平成21年二葉山トンネル周辺の住民の反発を受け事業は事実上、凍結状態となる。平成24年湯崎知事と松井市長が事業再開で合意。平成26年トンネル掘削をシールド工法とする計画に変更し着工、完成を3年後とし平成30年9月、トンネル掘削を開始。シールド工法とはトンネルの先端にシールドと呼ばれる鋼鉄製の外筒を設けて、崩壊する土を押さえながら掘削を行い、内部でセグメントと呼ばれるブロックをリング状に組み立てていく工法。トンネル上部の牛田地区の地盤沈下を防ぐため選んだ工法。この工法をめぐり平成30年10月、工事費、増額を高速道路公社が公表し問題発覚。平成28年5月、当初300億円の見積額をわずか11日後に200億円に減額して契約を締結、工事費増額で公社とJVと主張が食い違う為、公社は第三者委員会を設置し調査した。不適切な価格交渉があったことの報告受け工事の増額は87億円で合意し、令和元年12月議会で可決。増額は、87億円に留まらず、資材高騰で56億円、このさらに高速2号と5号線を連結する新たな工事費167億円が追加提案、総額310億円の増額を可決した。同時に付帯決議も可決。内容は、契約の監視委員会の設置、公社の意識改革、組織改革を行う事などです。

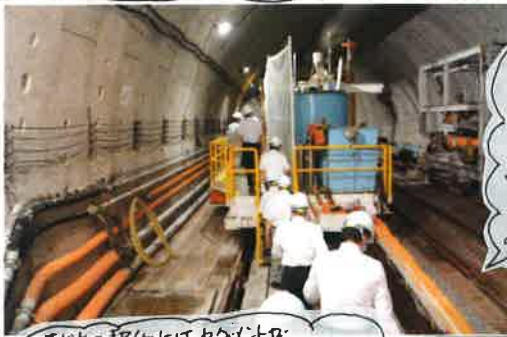
### 質問

二葉山トンネル1.8kmの掘削工事が岩盤の硬さや掘削機のトラブルで遅延し、追加費用の負担を公社とJVで協議中だが合意のめど立っていない。新たな増額はどの費用か？増額はいくらか

### 答弁

牛田地区直下において当初予定以外の Cutter 交換を実施した事、掘削中のマシンの不具合の点検や工事遅延の日数等は想定していない。増額はわからない。

増額の負担の合意が取れていないままだが工事は進め完成させることを合意している報道ではトンネル牛田地区直下に入り6回マシンが停止したとあるが、担当課に確認したところ、今まで、定期点検も含め60回以上停止していると答えた。トンネル工事はまだ半分程度の地点である。その後7/11受注者から公社に対し、この件を建設工事紛争審査会に調停申請する意思が示されたと報告を受けた。今後は紛争審査会において解決を図るといふ。過去に同様の事があったことがあるのかと聞くと「無い」と答えた。個々の協議でも審査委員会の結果でも費用の増加は必ず発生する。掘り始めたトンネルは工事中止ができない。もともと費用対効果の低い事業、増額で効果はさらに低くなる。本当に必要だったのか疑問に思える。



写真の奥の壁のセグメントのトンネル掘削の計算と工事の進捗

はじめの契約にはセグメントを入れていませんでした



## 会派で視察

新たな会派での今後の視察について

### 明石市、岡山県と市、和歌山市の図書館

予算特別委員会終了後、多くの議員、市職員が各地の図書館を視察しています。私の会派は明石市、和歌山市、岡山県の図書館を視察。写真は岡山県立図書館の書庫を視察した時のものです。中央図書館ならではの膨大な蔵書の管理システムを見せてもらいました。この蔵書がエールエールに入るとはとても思えない。



# 今年度も校長先生を悩ませる 修学旅行

令和3年度、校長先生、特に中学校の先生の一番の課題は、修学旅行を予定通り実施する事でした。コロナ感染拡大で計画変更を4回も行った学校もあり、最終的に実施時期を確保出来ず中止した中学校が9校ありました。

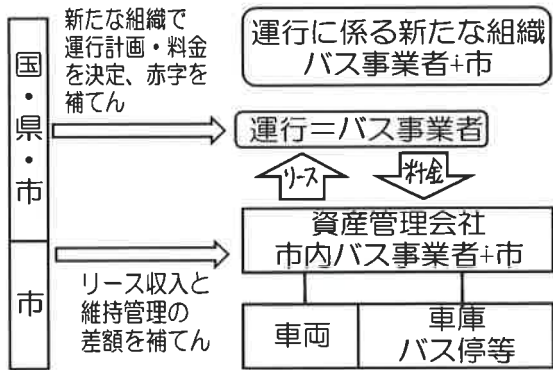
令和4年度、新たな課題があると聞きました。現在、学級閉鎖の基準は、同一の学級に複数の児童生徒の感染が判明した場合となっています。修学旅行実施についての基準はありませんが、学級閉鎖の状況なら学年全体で旅行に行けません。仮に五つの学級に1人ずつ感染者が出た5人の場合は修学旅行に行けますが、一つの学級に2人感染者が出たら旅行に行けません。修学旅行は一生の思い出、感染した子どもの心の負担が大きいこと、将来にわたり心の傷になるのではないかと危惧するのです。

文部科学省の通知は「一つの学級に複数人」としています。質問で、なぜ複数人を2人としたのかと聞きました。局長は「複数とは2人からだからです」と答えました。そんな程度の理由なら是非見直してほしい。大阪府、大阪市、奈良市は独自のガイドラインを作り、学級の15%が感染したら閉鎖するとしています。35人学級なら5人です。広島市では学級規模に関わらず2人としており、子ども保護者に納得のできる説明にならないと述べました。

その後、基準の見直しなど少しは検討があったのか確認したところ、県教育委員会と基準を合わせているので、県が変わらないと変更できないとの説明でした。逆だと思う。広島市が基準を変えたら県も変更すると思うがそれはしない。今の基準で旅行を延期した小学校が1校ありました。時期を変更して実施できていたので安心しました。

# 民間バス事業、上下分離方式導入を検討

## 広島型 バス事業上下分離方式のイメージ



現在、バス事業者は車庫、バス停等、車両運行を各事業者が行っている。上=運行は事業社が継続。下=施設や車両の維持管理を市が主体で行う。バス事業者は新たな資産会社より車両をレンタルして運行。資産会社はレンタル収入で運営するが不足は市が補てんする。市全域で複数のバス会社の路線を一括して上下分離方式をするのは全国初とのこと。コロナ感染拡大で利用者が3割減少、上下分離で事業継続を目指す。

●松井市長はこの事業に力を入れている。議会への説明は6月2日都市活性化特別委員会が初めてですが、5月3日には大きく新聞報道され5月10日の中国市長会総会で、市長が上下分離方式を市で検討していると説明。単なる赤字補てではなく事業者と自治体が一体となって便利な交通体系を構築したいと述べている。

●事業はとても急ぎ足で進んでいる。公式には4月25日広島市地域交通活性化協議会で、公共交通維持ため、行政も参画した運営方式、上下分離方式導入の要望がきっかけだが2日後の4月27日には総理や国土交通大臣に国の支援を求めに行っています。両者とも広島選出、さらに国も検討委員会を立ち上げており良い取組と評価されたと答弁しました。2024年度の導入を目指すとしています。

●基本賛成だが、事業費の規模も答えない。公共交通を道路整備同様、税金を投入し継続的、安定的に管理することは、高齢社会には必要。だが、財源には限界がある。路線の再編もできていない。事業者との詰めが重要